

## 第10回全国和牛能力共進会長崎県大会研修報告

石井大介・廣瀬 潤・鎌田裕子・松元里志  
(農学部附属農場入来牧場)

### 研修期間

H24.10.27(土)～H24.10.29(月) (3日間)

### 研修場所

ハウステンボス内共進会会場 (〒859-3292 長崎県佐世保市ハウステンボス町1-1)

### 宿泊場所

長崎県立佐世保青少年の天地 (〒857-0001 長崎県佐世保市烏帽子町376)

### 研修者

大島一郎(鹿児島大学農学部附属農場動物部門主任・助教)  
松元里志(鹿児島大学農学部附属農場入来牧場技術専門職員)  
廣瀬潤(鹿児島大学農学部附属農場入来牧場技術専門職員)  
石井大介(鹿児島大学農学部附属農場入来牧場技術職員)  
鎌田裕子(鹿児島大学農学部附属農場入来牧場技術職員)  
半渡聡(鹿児島大学農学部・共同獣医学部等総務課農場事務係員)  
笹山琢洋(鹿児島大学大学院農学研究科生物生産学専攻家畜生産学講座修士2年)  
後藤孝美(鹿児島大学農学部生物生産学科家畜管理学講座4年)  
東原大(鹿児島大学農学部生物生産学科家畜管理学講座3年)  
柳田大輝(鹿児島大学農学部生物生産学科家畜管理学講座3年)

### 研修目的

公共の宿泊施設を利用し学生実習での宿泊施設の有り様を考えるとともに、教職員が実際に宿泊することで宿泊時間割を学ぶこととする。

和牛能力共進会で、全国トップクラスの牛の水準を学ぶとともに、入来牧場の改良方針を模索する。

### 宿泊地所感

本研修において、実習宿泊施設としての研修を兼ねるべく、宿泊場所は長崎県立佐世保青少年の天地とした。ここで2泊したことで同じ宿泊施設として勉強させられる点が多々あった。まず、宿泊者は到着しですぐに入所式を行う。入所式では、共同生活する上での決まり事について細部にわたる説明があった。その説明の中に、布団やシーツ使用後のたたみ方及び置き方の細かい指示があったが、これは宿泊者全員が同じたたみ方に揃えることで、集団生活における規律教育効果と宿泊施設の管理運営業務の効率化を狙

ったものと考えられる。入来牧場においても学生教育の一環として取り入れる価値があると感じた。また、建物が大きいにもかかわらず整理整頓が隅々まで行き届いており、気持ち良く日々過ごすことができた。今後は、入来牧場利用者が今よりも更に快適に過ごせるよう、今回の研修で学んだことを積極的に取り入れていきたい。

## 共進会研修所感

全国和牛能力共進会は、「和牛維新！地域で伸ばそう生産力 築こう豊かな食文化」というテーマのもと開催された。参加は、全国38道府県、会期は、平成23年6月24日～24年10月29日まで、最終審査は24年10月25日～10月29日の期間で行われた。会期中の10月27日～10月29日の最終比較審査を見学・研修した。まず、4年に1回の開催でイベント的な要素も含まれ、会場は出品者もさることながら各道府県からの応援も熱気を帯びていた。優秀賞が決定される度にどよめきと歓声につつまれる会場であった。口蹄疫で壊滅的な被害にあった宮崎県が、各審査区分で優秀な成績を収めたのは、特筆すべきことであったしその苦労には、敬意をはらいたい。また、鹿児島県においても、宮崎県と競い合うところまではいったのだが、あと一步及ばなかった。鹿児島県に立地する当入来牧場は、これらを踏まえ改良指針に則した牛作りに努める必要があると思われた。

## 研修日程

研修日程表

	27日(土)	28日(日)	29日(月)
6:00		就寝	就寝
		起床 掃除	起床 掃除
7:00		朝のつどい	朝のつどい
		食事 身支度	食事 身支度
8:00		移動	移動
9:00	鹿児島中央駅集合	ハウステンボス着	ハウステンボス着
10:00	移動	共進会研修	共進会研修
11:00			
12:00			
13:00			
14:00			
15:00	長崎県立青少年の天地着 入所式		移動
16:00	宿泊準備 食事 風呂	移動	鹿児島中央駅着
17:00			
18:00		食事 反省会	
19:00			
20:00		移動	
21:00		風呂	
22:00	就寝	就寝	